

特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより



みらい

旭川市立富沢小学校 No. 9 平成27年 9月30日発行

学校教育目標
夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】
かしこい子 (知)
あかいい子 (徳)
ねばりづよい子 (徳)
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】
きたえ ふれあう 富沢っ子

実り多い2学期に

校長 禎島清幸

木々の彩りが変化し始め、富沢地区に秋の訪れが感じられてきました。2学期がスタートし1か月たち、子どもたちも自分たちの目標に向け、稔り豊かな秋になるよう努力をしています。また、担任も子どもたちに寄り添い、一人一人にあった指導を目指しています。2学期は、冬休みまでの長丁場です。2学期には成長のため節目がたくさんあり、その一番が学芸発表会です。特認30周年記念学芸発表会では、富沢小児童のチームワークや一人一人が自分の役割を果たす姿が見られることを楽しみにしています。

また、学習面では内容が一層充実してまいりますので、家庭での学習を充実させることが大切になります。高学年では、与えられる学習から自分から進んで行う学習へのシフトチェンジが大切になってきます。特に6年生は、小学校の学習内容をしっかり身につけるための重要な時期です。低・中学年は人に頼らず自分でできることは自分でする気持ちをもつことが肝要です。季節的にも学習には最高の状況です。この時期に学習習慣がより確かなものになるようご家庭での声かけをお願いいたします。学習活動に向かう気力や体力を培う源は、規則正しい生活により獲得する「健やかな体」です。「健やかな体」には、たくさんの素晴らしいもの（確かな学力・豊かな心・・・）が宿り、子どもたちの将来に大きな可能性を与えてくれます。ご家庭でのご理解とご協力をいただき、学校での指導を充実し大きな稔りの秋になることを目指します。

「あったかことば」「とげとげことば」 先日の朝会で、児童と一緒に考えて見ました。例えば、言われて、やる気が失せる否定的な表現「とげとげことば」と、うれしくなったりやる気が出る肯定的な表現「あったかことば」の違いに気づかせるねらいで、「あっちいけ」⇔「いっしょに あそうぼう」など対極的な言葉を示しました。児童からも、「いやだ」「心が傷つく」など意見が出ました。「つい」「なにげなく」使ってしまった言葉が相手に与えるダメージは、計り知れません。他にこんな言葉もあります。「それがどうした」⇔「すごいね」・「うるさい」⇔「ちょっとまってね」など。多くの児童が、言われてうれしくやる気が出る「あったかことば」を心がけ互いに高まることを願っています。



10月 行事予定

今月目標

生活目標

保健目標

給食目標

○進んで行動しよう。

○目を大切にしよう。

○食の文化について知ろう。

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
1	木	安全点検日	18	日	学芸発表会 下校12:20
5	月	視力検査 (中)	19	月	振替休業日
7	水	音楽朝会 学芸発表会実行委員会①	20	火	旭川市教育研究大会 (臨時休校)
9	金	視力検査 (高) 研修日	21	水	振替休業日
12	月	体育の日	22	木	後片付け 朝会 (いじめ防止)
13	火	音楽朝会 実行委員会②	23	金	諸費引落日 研修日
14	水	種目説明会	26	月	朝会 後期クラブ (計画)
15	木	総練習・反省会議 下校15:00 神居地区PTA講演会	27	火	ふれあい給食 (1年・中学年)、児童総会
16	金	実行委員会③ 職員会議	28	水	職員会議
17	土	前日登校 (お弁当) 下校14:30	30	金	研修日

特認30周年記念事業としての取組

特認30周年記念行事につきまして、保護者の皆さまのご協力により、着実に進められております。記念事業計画の主旨に基づき、「子どもの心に残る事業と形に残る事業」を行っていただきました。

子どもたちのデザインを生かした「交通安全看板づくり」

道道沿いに「交通安全」を呼びかける看板が設置されていますが、老朽化に伴い、「作り替え・立て替え」を計画しました。大人の考えでの製作ではなく、子どもたちのアイディアを生かしたものにしようということになりました。低学年・中学年・高学年それぞれ学級ごとにデザインを考え、ふれあい合宿1日目の全校図工の時間に看板を仕上げました。それぞれの学年自慢の看板ができあがりしました。設置される日が楽しみです。



1・2年生の看板



3・4年生の看板



5・6年生の看板

集まれ！特認30周年記念バーベキュー

ふれあい合宿の1日目、例年は子どもたち手作りのカレーライスでしたが、今年は、児童・保護者・地域・教職員、みんな集まり「特認30周年記念バーベキュー」を行いました。

記念事業部の方々が夏休み中にも部会を行い、熱心に準備してくださいました。畠山さん・高橋さんからは地場産食材を提供していただきました。生憎の雨天でしたが、体育館の中でたくさんの参加者たちが会話を弾ませながら、楽しい時間を過ごすことができました。

バーベキューの後には、海洋化研さんのご好意により、記念花火大会を行いました。全23発の打ち上げ花火が富沢の夜空をきれいに彩り、子どもたちの心にも一夏の思い出として、しっかり焼き付いたことと思います。

たくさんの方々のご協力・ご支援により、盛会のうちに終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。



地域素材を生かした体験的な活動を

ドングリ植樹活動 (秋の野山)

春に植えたドングリの苗を国有林「美遊の森」まで登り、植樹してきました。今年も上川森林管理署の職員が活動をサポートしてくださいました。

「秋の野山」という名称で、自然体験的学習と環境教育という2つの側面をもたせた活動として継続してきました。それ以外にも「森林浴」としての効果も期待されるのですが、次年度「総合的な学習」の教育課程改善のため、次年度の実施は見送られる見通しです。



収穫の喜び体験『稲刈り』

今年は例年より少し早い日程で『稲刈り』を行いました。同じ日にPTAの集まりがあったため、地域の方々だけでなく、多くの保護者にもご協力いただくことができ、予想以上に早く作業を終えることができました。

学年に応じた作業を熱心に取り組む姿にはいつも感心させられます。

11月の「ふれあいお楽しみ会」でのお餅つきを今から楽しみにしている子どもたちもたくさんいました。



子どもの視力低下を テーマに 学校保健委員会の開催



裸眼視力1.0未満の児童の割合が全国平均を大きく上回っているという本校児童の実態を踏まえ、「学校保健委員会」を開催しました。講師に旭川医科大学教授の石子智士氏をお招きし、専門的な立場から、『視力異常と視力の低下』についての講演をしていただきました。プレゼンテーションによる講演の中に、動画やクイズなど、聴く者を飽きさせない工夫をいくつも取り入れ、あっという間の1時間でした。

保護者の参加は決して多くはありませんでしたが、終了後のアンケートには、「参考にになった。」「わかりやすかった。」という高評価の感想をたくさんいただきました。

次年度も新たなテーマで開催いたしますので、多数ご参加いただきますようお願いいたします。



ようこそ！未来の先生方…

17日に北海道教育大学の学生15名が「小規模校教育実習」のために本校を訪れ、子どもたちと一緒に学校生活を楽しみました。

まだ2年生の学生ですが、どの学生もたいへん意欲的で、話を聞く態度も立派でした。

対面式では、子どもたちの歌声に感動し、学生一人一人が「短くインパクトのある自己紹介」で子どもたちの視線を集めました。

本校での教育実習の特色は、授業参観だけでなく、「学生がチームを組んで、6学年に分かれて授業を経験してもらうこと」です。事前にFAXなどで本校教諭から指導を受け、手探り状態ではありませんでしたが、授業実践に取り組みました。

「貴重な体験をさせてもらった。」「緊張したが、子どもたちの優しさに救われた。」「指導案通りにならないことを学べてよかった。」など、たくさんの感想を述べていました。

休み時間には子どもたちと体育館で一生懸命遊んだり、教室に分かれて一緒に給食を食べたり、『1日先生』の感想はとても楽しかったようです。

学校としても、学生たちの指導を通して、確かな手応えを感じることができ、将来の教師を育てるという使命を少しは果たせたように思います。



後期児童会役員選挙 魅力的な公約の数々…！

後期児童会役員選挙の立会演説会では、候補者たちが熱い思いを伝え、票を獲得するための戦いを繰り広げました。候補者たちそれぞれに学校をよりよくしようという意欲を感じることができました。

「公約」を必ず実行することが富沢小学校児童会の伝統です。候補者一人一人がよく考え、アイデアを生かし工夫された「公約」を訴えました。どの公約も素晴らし内容で、全部実行してほしいと思うのですが、選挙ですので、一部の候補者は公約を断念しなければならない現実が残念で仕方ありません。

選挙結果は敢えて報告いたしません。候補者全員の勇気と自信と頑張りに拍手です。

役 職	学年	立候補者	責任者	公 約
会長 候補	6年	松本 小幸	永沼早耶香	全せいは！富沢っ子大自然 絵合わせ大会
	6年	高橋 柊友	山田 悠斗	ふるさと家族ともしっかり仲よくなろう大作戦
副会長候補	6年	宇佐見空愛	小林 暁奈	富沢に花をさかせよう
	6年	米澤 偉智	岡 大志朗	寒い冬でも元気な富沢っ子雪だるま大会
	5年	岡 侑衣人	濱名ひまり	富沢歴史クイズ大会
	5年	永沼安寿茄	菅 梨々夏	全校イスとりゲーム大会
書記 候補	4年	高橋 洸樹	工藤 匠生	全校ドッジボール大会



6年生
の
候補者



今もてる技術のすべてを出し切った『一輪車大会』

本校の魅力を伝えるために、特認入学説明会と同日開催で「一輪車大会」を実施しています。

本校の保護者・次年度入学希望者（園児・保護者）が多数見守る中、大会が行われました。

縦割り班に分かれ、個人種目・団体種目を行い、優勝を争う子どもたちの表情は、みな真剣そのものです。さらに学級ごとの集団演技は最大の魅力です。学年を追うごとにレベルの高い技が発表され、たくさんの拍手をいただきました。

今年度入学した1年生が全員こうして一輪車を操り、「富沢っ子」になっていく過程、その姿を見ることは何よりの感動です。暑い夏の放課後、担任の指導の下、額に汗を流しながら、何度も転んでは立ち上がり、転んでは立ち上がりする姿に逞しい富沢っ子としての確かな成長を感じることができました。



みんな乗れたよ1年生



中学年の集団演技



高学年のハイレクニック

富沢の特色ある教育活動をどう改善していけばよいか

～家庭・学校・地域の連携による創造的な教育活動の推進～

「富沢の教育を語る会」を行いました。昨年度に引き続き、「富沢の教育をどう改善していけばよいか」保護者のみなさまと一緒に話し合うことができました。

昨年度の教育を語る会では、保護者・地域のアンケート結果をもとに、「全学年英語活動」について提案し、今年度より実践化を図っているところです。

今年度は前期学校評価結果をもとに、低学年・中学年・高学年に分かれ、大きく次の3点について意見交流を行いました。賛否両論がありますが、今回の話し合いを参考に年度末までに確定したいと思います。



※紙面の関係上、ご意見の一部のみ紹介させていただきます。

テーマ	低学年	中学年	高学年
1 総合的な学習の時間「ふるさと学習」のカリキュラムの見直し ・体験活動から探究的な学習へ（米づくり活動の廃止） ・野山活動を縦割り班活動から学年別指導へ	●水田の継続不可能は仕方ない。畑作中心の活動にしてはどうか？ ●時代を反映した内容があってもよい。 ●地域で稲刈りの体験だけさせてもらいたい。	●ふるさと家族の水田を借用できないか？ ●水田を廃止するなら富沢小に入れる意味がない。 ●PTAを含めたプロジェクトで実施	●米づくりが不可能であれば野菜づくりにして収穫祭やふれあい活動を行う。
2 ふるさと家族制度の継続 ・はがき・行事案内を届けるだけでなく、「訪問型」の活動へ	◆親子共々、地域の方とふれあえる機会を。 ◆地域家族が受け入れてくれるのなら、交流を行いたい。 ◆地域見守り隊のような活動は可能か？	◆ボランティアや農作業、お手伝いを目的にした訪問にしては。 ◆地域や子どもたちの意見も参考にしては？	◆地域とのつながりを大切に、訪問受け入れ可能かどうか事前にリサーチして実施。 ◆全学年のいこいの家訪問は賛成。
3 家庭学習に関する系統的な指導 ・学校での家庭学習に対する指導についての共通理解	★家庭学習は親がいないと難しい。 ★読書を多くするようにしている。 ★決まった時間をやるように気をつけている	★家庭学習は時間ではなく質が重要。 ★自主的な取組が大切	★家庭学習での積み重ねを自由研究にしては ★通信での紹介は励みになっている。 ★文章構成力を高める内容を（日記など）